

(3) 2026年(令和8年)7月3日(金曜日)

地域貢献活動を発表

日本高校会議所が総会

日本高校会議所の第9回総会が、このほどオンラインで行われた。富士宮高校会議所が運営し、西町レトロ館と全国各地の高校生団体をつなぎ、7高校10チームの活動発表を通して交流を深めた。

花さんと望月優希さん。活動発表では、各チームが地域活性化や探究学習、国際貢献などを目指す取り組みを伝えた。生徒のほか、教育関係者や実業家などのアドバイザー16人とオプザーバー2人を迎え、画面越しに活発な意見交換を繰り広げた。今後の継続的な交流も約束した。



た地方創生、人間関係についての探究、コーヒー店の豆かすを肥料にして農園に橋渡しする連携事業、遊休農地で育てたヒマワリの油

を有効活用する地域貢献などが聞かれた。三島北高はベトナム



富士宮高校会議所メンバー(上) オンライン総会(下) 提供写真

研修から得た課題を基に、各チームが塩水侵入による農業被害の対策、紙文化の継承、生分解性バイオプラスチックを活用した環境負荷低減などの具体的なアイデアを提案し、関心を集めた。富士宮高校会議所は、市の魚ニジマスの廃棄物と朝霧高原の牛ふんを原料としたオリジナル堆肥「マスマス元肥」を活用した遊休農地の解消や特産品の開発など、ビジネス的視点を踏まえた持続可能な地域共生社会の実現を図る取り組みを発表した。